

**平成31年度**

**教育方針**

**浜田市教育委員会**

私は、市長の施政方針を受け、教育委員会を代表して、平成 31 年度の教育方針を申し述べ、皆さまのご理解をいただきたいと思ひます。

なお、本年 5 月からは、新天皇のご即位に伴い、新たな元号になりますが、施政方針と同様に教育方針におきましても、元号を全て「平成」として統一して申し述べさせていただきます。

昨年 8 月、浜田市で開催された全国中学校体育大会体操競技選手権大会は、出場した地元の旭中学校及び第一中学校選手の大健闘により、感動の多い大会となりました。準備段階からご指導をいただきました島根県体操協会及び浜田市体操連盟の皆様、猛暑の中、献身的に大会運営に当たっていただいた市内中学校の生徒及び先生方、ご声援いただいた市民の皆さんに、あらためてお礼申し上げます。

平成 31 年度は、浜田開府 400 年という大きな節目の年であります。

次代を担う子どもたちが、浜田の歴史や文化について学習を深め、将来の浜田を考える取組を推進してまいります。

平成 30 年度及び平成 31 年度は、中長期的な展望に立って、今後の教育推進の方針等を検討、決定する極めて重要な時期であると捉えています。

まず、スポーツ施設につきましては、現在、スポーツ推進審議会の答申を

踏まえ、各地域の現状と市民の皆さんや各競技団体から意見をいただきながら、浜田市スポーツ施設再配置・整備計画の策定に取り組んでおります。しかしながら、野球場及び陸上競技場など、更に検討が必要な施設もあり、計画策定に向け、引き続き取り組んでまいります。

また、小中学校の適正配置及び整備につきましては、先日、学校統合計画審議会から出された答申を尊重するとともに、保護者、地域や市民の皆さんの意見を大切にしながら学校統合計画を策定し、併せて校舎建設等の方針についても、お示ししたいと考えております。

さらに、公立幼稚園につきましては、市民サービス向上の観点から、幼稚園受付業務などを保育所、認定こども園業務の担当課である子育て支援課で一体的に行うこととし、4月から窓口の一本化を行います。

また、原井幼稚園と石見幼稚園の統合幼稚園を検討してまいりましたが、原井幼稚園は、平成31年度の入園申込がなく、平成31年度は休園とすることにいたしました。平成30年度末に行う子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査の結果も踏まえて、今後の公立幼稚園の在り方を検討してまいります。

毎年申し上げておりますが、『教育の原点は、人権尊重の精神をすべての教育の基底に据えて取り組むことである。』と考えています。大人や子どもたち一人ひとりの人格や個性の違いを互いに認め合い、自己的人権とともに、他

の人の人権を守るための実践行動につながる教育を進めてまいります。

各学校や公民館などで開催される人権集会や講演会の支援を行うとともに、昭和 59 年度に始まった児童生徒や一般の方を対象とした人権作品コンクールも継続実施し、差別やいじめのない人権尊重のまちづくりを推進してまいります。

以上のことを踏まえて、具体的には、「学校教育」、「社会教育」、「文化芸術の振興」、「文化財の調査及び保存」の 4 つの項目について申し述べます。

### **(学校教育)**

まず、「学校教育」についてであります。

学校教育におきましては、「ふるさと郷育の推進」、「学力向上総合対策の推進」、「特別支援教育の充実」の三つを重点として取り組んでまいります。

ふるさと郷育の推進につきましては、各地域の特色ある資源を活かし、「子どもの生きる力の育成」、「ふるさとへの愛着や誇りの醸成」、「地域に貢献しようとする意欲の喚起」などを目指して、学校教育及び社会教育の両面から取り組んでまいります。

特に、幼稚園と小学校では、平成 28 年度から豊かな浜田の自然を活かした様々な自然体験活動推進事業を実施しておりますが、平成 31 年度からは、活動や各教科等のねらいや内容と関連を図りながら、『海洋教育』を推進するために、モデル校を指定して取り組んでまいります。

学力向上総合対策につきましては、学習指導要領改訂のポイントである資質・能力の育成を目指す『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善が、最も重要と考えています。

児童生徒のお互いの関わり合いを通して一人ひとりが学びを深めることのできる「協調学習」の手法について、引き続き研究指定校を定めて、研究・実践に取り組んでまいります。

また、学校図書館活用教育、調べる学習コンクール、算数・数学アドバイザーによる研究指定校制度等も継続して実施し、授業改善を図りながら学力向上に繋げてまいります。

一方、教員の授業力向上を目指し、「スーパーティーチャー示範授業研修」、「指導主事による訪問指導」、「研究指定校による公開授業及び研究協議」の実施などにより、教員の研修の機会を確保するとともに、浜田市教育研究会の活動に対しても支援してまいります。

学力向上のためには、家庭学習の充実やメディア接触時間の適正化も大きな課題となっており、小中連携教育の重要な取組の一つとして、学校と家庭が一層の連携・協力を図り、取組を推進してまいります。

特別支援教育の充実につきましては、福祉部局と連携した相談支援チームによる巡回訪問の充実や平成 30 年度に設置された島根県幼児教育センター

との連携により、特別な配慮を必要とする子どもの早期発見・早期支援に努めるとともに、引き続き特別支援教育担当の指導主事配置により、相談体制の充実や特別支援教育担当教員の研修など、教員の資質向上を図ってまいります。

青少年サポートセンターにつきましては、中学校及び高等学校や浜田市教育支援センター（山びこ学級）との連携をより深めるため、学校教育課内の組織として再編し、ひきこもりやニート、不登校など、社会生活を円滑に営む上で様々な困難を有する子ども・若者の育成支援に取り組んでまいります。

教職員の働き方改革につきましては、浜田市校長会と連携し、業務改善を進める基礎としての時間外勤務時間の確実な把握を行い、国のガイドラインを参考とした業務改善に取り組んでまいります。また、教職員の負担軽減を図るための校務支援システム導入についても、浜田教育事務所管内市町で、引き続き検討してまいります。

中学校の部活動につきましては、その教育的意義は大きいものでありますが、一方で長時間の活動による生徒の疲労蓄積や顧問の大幅な超過勤務などが課題となっております。現在、「浜田市中学校の部活動ガイドライン」を、浜田市中学校長会と策定中であり、今年4月から実施する予定であります。

## (社会教育)

次に、「社会教育」についてであります。

社会教育の拠点である公民館につきましては、新たな地域づくりの拠点として、公民館本来の目的である人づくりに加えて、持続可能な地域づくりを支援するため、地域課題を地域住民が共有し、解決に向けて主体的に学び、活動する取組を支援してまいります。

地域学校協働活動は、地域住民、保護者、地域の団体など幅広い皆さんの参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動であり、社会教育に新しく位置付けられています。

平成27年度から取り組んでいる「はまだっ子共育プロジェクト」が、この活動そのものであり、次代を担う子どもたちを育むとともに活動に関わる大人たちも学び、高まっていく活動を、中学校区毎のネットワークの充実を図りながら推進してまいります。

教育の魅力化につきましては、現在、浜田市県立高等学校支援連絡協議会を設置し、市内県立高等学校三校の魅力化を支援していますが、三校の更なる魅力化について検討してまいります。また、地元企業等の支援促進を図るための組織づくりも併せて検討してまいります。

家庭教育支援につきましては、子育て世代の不安解消に向け、浜田市版家庭教育支援プログラム「HOOP！（浜田親子共育<sup>ふうぶ</sup>応援プログラム）」のPRと活用の促進に努めてまいります。

次に、「スポーツ振興」についてであります。

スポーツは、体力向上や健康増進を図ることのみならず、地域交流の促進や地域の一体感の醸成につながることや、ルールやマナーを学ぶなど、その役割は多岐にわたると考えます。

浜田市体育協会やスポーツ推進委員、各競技団体と協力し、引き続き、競技力の向上及び競技の普及、心身の健康を養う軽スポーツの推進に努めてまいります。

また、運動施設の安全対策及び利用者等の利便性の向上を図るため、浜田市野球場のスコアボードの電光掲示板への改修工事や防球ネットの設置等を行ってまいります。

次に「図書館」につきましては、各館が備える図書館機能を十分に発揮して利用者のニーズに応えるほか、移転計画のある旭図書館、弥栄図書館については、機能の拡充を検討してまいります。また、移動図書館ラブック号の積極的な運用を行い、より多くの地区で本の貸し出しが可能となるよう努め



てまいります。

さらに、市民ボランティア団体と協働して、幅広いイベントの開催を検討し、広く市民に愛される図書館運営を目指します。

### **(芸術文化の振興)**

次に、「芸術文化の振興」についてであります。

芸術文化の振興につきましては、浜田市文化協会と連携し、市内の多種多様な文化・芸術活動等に取り組む皆さんや芸術文化団体の活動が活性化するよう支援してまいります。具体的には、第 51 回浜田市美術展、スクールコンサート、芸術と文化のまちづくり事業及び石本正日本画大賞展の開催、JICA 美術教育支援事業によるブータン王国研修生受入れなどを支援し、芸術文化の振興に取り組んでまいります。

また、石央文化ホール、世界こども美術館、石正美術館の自主事業や企画展覧会等についても支援、協力するとともに、施設改修についても計画的に進め、利用者の利便性の向上など管理運営の改善に努めてまいります。

### **(文化財の調査及び保存)**

次に、文化財の調査及び保存についてであります。

文化財につきましては、貴重な文化遺産の保護・継承と情報の収集、発信に努めてまいります。

浜田開府 400 年に向けて整備を進めている城山公園につきましては、県指定史跡である浜田城跡の保存を前提としながら関係機関と調整を図り、10 月までの完了を目指すとともに、学術的な調査につきましても、継続して取り組んでまいります。

浜田城資料館につきましては、歴史的建造物である御便殿を活かしながら、浜田城や北前船について展示、紹介する施設として内部の改修を行い、10 月には開館できるよう準備を進めてまいります。

「(仮称)浜田歴史資料館」につきましては、浜田の歴史と文化を振り返り、ふるさとへの愛着や誇りを育むとともに、将来に向けて伝承していく拠点となる施設であります。4 月には検討組織を立ち上げ、これまでの検討の経緯や市議会及び市民の皆さん方の意見、浜田市の財政状況なども十分に説明する中で、その必要性も含め検討し、秋頃までに一定の方向性を出したいと思っております。

また、各自治区支所の空きスペースを活用して、新たに文化財の展示スペースを設け、より多くの皆さんに地域の歴史文化に触れていただく機会を増やしていきたいと考えています。

市誌編纂につきましては、浜田開府 400 年を機に、今後のスケジュール等の基本方針をお示ししたいと考えております。文化財の総合的把握を目指し、

合併後、広くなった浜田市の多様な歴史文化をまとめるための資料調査に努めてまいります。

以上、平成31年度の教育方針について申し述べましたが、これらの方針、施策を実現していくために、教育委員会は、市長との連携を密にして、学校や家庭、地域の理解と協力を得て取り組んでまいります。

議員並びに市民の皆さまには、一層のご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。